

T O P I N T E R V I E W

# ビジネスを加速させるために 新たな価値を創出するもの それがクラウド。

最近、流行り言葉のように使われるクラウド。  
クラウドで企業は何を得られ、何を改革できるのだろうか。  
総合IT 商社 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 (以下、CTC) の  
取締役 兼 常務執行役員 大久保忠崇氏に伺った。



**CTC**

Challenging Tomorrow's Changes

## コストメリットだけではなく 「ビジネスの加速」「新ビジネスの創出」 こそがクラウドの目的

### — CTCのITサービスの長を教えてください

お客様からは「ITインフラに強いCTC」との評価を頂いています。私どもは、「お客様が求めているものは、ビジネスアプリケーションの使い易さや利便性にあり、それを支えるITインフラはあたり前のように提供されるべきもの」と考えています。

CTCの強みは、アプリケーションやミドルウェア・OSから、サーバ・ストレージやネットワークまでを理解するプロフェッショナルを揃えた総合力にあります。

### — 多様化・加速化するビジネス環境の中、IT活用はどのように進むのでしょうか?

今の時代は、課題を解決するだけではITを活用しているとは言えません。ITでビジネスサイクルを大幅に変化させ、そのスピードの先頭に立つ企業だけが生き残る時代となっています。

意思決定は、トップダウンで決まるだけでなく、社員のコミュニティを通して、様々なアイデアを吸収することで、スピーディに商品化や改革を行うようになりました。ある製造業のお客様は、会社全体でコミュニケーションやコラボレーションを行うための基盤をクラウドで構築しました。建設業のお客様は、プライベートクラウドで様々な分野の技術者が情報交換を行い、業務推進を加速させています。

コストメリットや効率化が注目されていますが、クラウドによって新たな価値を生み出す企業が多いのです。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
取締役 兼 常務執行役員  
ITサービス事業グループ  
担当役員 兼 CTO

大久保 忠崇 氏

### — そこでクラウドが注目されているというわけですね。

クラウドは手段であり、ビジネスを加速させる大きな要素です。コミュニケーションや意思決定のためのツールが進化すれば、新しいビジネスモデルが生まれます。

クラウドはこれらのツールを、利用規模の変化に合わせた適切なコストで利用でき、ビジネスを加速させます。

### — CTCのクラウドサービスの長とは？ また、クラウドの導入を検討している方々へのメッセージをお願いします。

パブリッククラウド、プライベートクラウド、従来の自社環境といった中で、お客様の要望に最適な環境を選び、組み合わせて提供できることが、我々の強みです。

国内には、クラウドの構築から運用・保守まで一貫したサービスを提供するベンダー意外に少ないのです。我々は、自営のデータセンターを持ち、ファシリティ管理、ハードウェア保守、OSやミドルウェアの管理、アプリケーション運用、ヘルプデスクまで、自社グループですべて行えます。

流行り言葉に乗って、クラウドにしたいと相談いただく場合が多いのですが、「コスト」「省力化」よりも、この機会に、ビジネス環境を見直し、クラウドがどのような価値を生み出すのか考えていただき、アイデアでかまわないので、まず、ご相談いただきたいですね。

